

笑顔溢れ、光り輝く神戸の未来を切り拓く!

～軽快なフットワークと仕事ができる本物の政治家を目指して～

神戸市会議員 西区選出 佐藤 公彦

(平成30年度) 総務財政常任委員会 委員長

副委員長 理事 副幹事長 総務副会長
予算特別委員会 未来創造都市に関する特別委員会 自由民主党神戸市会議員団 自由民主党兵庫県支部連合会



現在 2期目

発行：自由民主党 神戸市会議員団 神戸市中央区加納町6丁目5-1 神戸市役所1号館28階

<プロフィール>

昭和41年2月 神戸市に生まれる。●岩岡保育園、兵庫県立農業高等学校を経て芦屋大学を卒業後、4年のサラリーマン生活を体験●14年に亘り、代表取締役として建設資材製造販売会社の経営を行う。その間、自民党兵庫県連青年局長などを9年間務め、政治を学ぶ。●平成17年には、一般社団法人明石青年会議所にて理事長を務める。●平成19年には神戸市会議員選挙(西区)に無所属で挑戦するも惜敗したが、平成23年の統一地方選挙にしがらみのない無所属(地盤・看板・カバンなし)で再挑戦し初当選を果たす。●平成27年に無所属で2期目に挑戦するが叶わず、落選中には起業を果たし、キュアソリューションズ株式会社 代表取締役役に就任、訪問看護ステーションの運営を行う。●平成29年10月政務活動費不正受給問題により行われた補欠選挙にて、自民党公認で挑戦し、22,684票を頂きトップで再選を果たす。●現在2期目、狩場台在住。●家族構成 妻、長女、次女、ラテ(トイプードル)の4人家族と一匹

現在、訪問看護ステーションの代表として地域福祉に取り組んでいます。

ごあいさつ

拝啓 新緑のみぎり、皆様方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

お陰様をもちまして充実した議員活動をさせていただいており、ご支援賜りました皆様により感謝申し上げます。また、平成二十九年十月に行われた神戸市会議員補欠選挙において、22,684票をいただきトップで復活当選させて頂きましたことに深く感謝申し上げます。

神戸は「輝ける未来創造都市」を目指して、三宮駅前の再開発や阪神高速湾岸線の延伸や神戸西バイパスの早期実現、新西区役所、新図書館、芸術文化ホールの整備に向けた動きが活発になっております。

更に、少子高齢社会の到来から都市のあり方が議論されており、西区は市域を超えて西部地域における広域拠点都市を目指し、近隣市との連携からお互いに二重行政となる分野は解消し生まれた財源を課題解決へと振り返ることにより各市民サービスの向上に繋がる可能性があります。

また、落選中には会社を起業し、訪問看護の運営を行っています。以前は十四年に亘り、建設資材製造販売会社の経営や青年会議所の理事長、PTA会長、自治会役員などを務め、これらの経験を生かして、一人ひとりの笑顔があふれ、光り輝く西区の未来、神戸の未来をしっかりと切り拓いて参ります。神戸から日本の未来を創っていく覚悟をもち、我々にとって誇りある素晴らしい未来が創造出来るよう、議員活動に取り組み、これからも貴方様から頂きましたご厚情に感謝し、その職責に恥じぬよう精進を重ねて参る所存でございます。

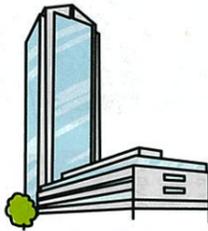
これからもどうぞ宜しくお願い申し上げます。

敬具

平成30年度 第2回定例会市会(9月議会)

ヤミ専従問題について 全力で取り組みました

マスコミ等でも大きく取り上げられた神戸市職員の職務専念義務違反(ヤミ専従問題)の件につきまして私、佐藤が9月議会代表質問にて厳しく質問・追及しました。



都市計画道路の整備について

岩岡・神出線の整備について 玉津・大久保線の整備について

オールタウンへの若年世帯の呼び込みについて

建設工事に係わる入札制度について

取り組み 特集

笑顔溢れ、光り輝く神戸の未来を切り拓く取り組み

笑顔溢れ、光り輝く神戸の未来を切り拓く取り組み

産経新聞 平成三十年九月二十六日 掲載
質問 労使関係の正常化について

神戸市職員労働組合のヤミ専従問題について、総務財政、福祉環境、経済港湾、企業建設、都市防災の各常任委員会、我が会派の質疑によってその実態が明らかになった。

その際は、現委員長(当時)・現在は退任)だけではなく、前委員長(当時)や役員、退職者も含め、徹底した対応をすべきである。退職者にいたる場合は、ヤミ専従期間の給与だけでなく、ヤミ専従によって受けるべき懲戒処分の結果をふまえ、給与や退職金が減額される場合もある。そのことも踏まえ、厳しい措置を求めるが、市長の見解はどうか。

久元市長 答弁

ヤミ専従が神戸市役所において存在することが明らかになったことは決してあってはならないことであり、極めて遺憾な状況であると考える。これが存在

をしているということは、いわゆる労使癒着の状況が存在しているということが推察される。調査委員会に対して具体的な再発防止策を提言することをお願いしており、調査の対象には退職者も当然含むものと考えている。

調査の過程で違法又は著しく不当な事案が判明した場合は、調査対象年数も遡ることもあり得ると考えている。本市としては、調査を行っていただいた全ての対象期間、退職者を含めた対象者について、明らかにした事実に基づき、処分や給与返還も含め、厳正に対処してまいりたいと考えている。

質問 管理運営事項の取り扱いについて

今回のヤミ専従問題は、ヤミ専従だけではなく、様々な問題が浮き彫りになってきている。本来、職員団体である神戸市職員労働組合との交渉も、労働

※中面ページへ続く

地域のことでご相談やご要望などがあれば お気軽にお問い合わせください。ご連絡お待ちしております。

TEL078-322-5846 FAX078-322-6164 E-mail:sato@kimihiko.info

みなさまの市政に 関するご意見を お待ちしております

西区の活性化について取り組み

# 西区の未来を拓く!!

## 誰もが住み良い笑顔溢れる西区のために!

平成三十一年度 第二回定例会(九月議会) 代表質問

### 神戸ワイナリーを 活用した 観光・農業振興 について

質問



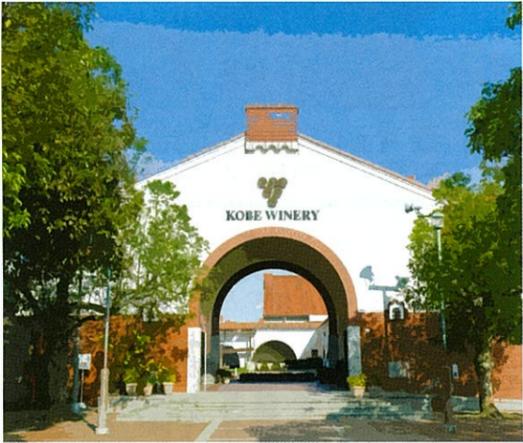
実現に向けて  
検討中

立地条件に恵まれた広大な土地である神戸ワイナリーは以前より、施設のあり方について検討がなされているが、未だ今後の活用方法が明らかにされていない。観光地の少ない西区の観光振興や農業振興だけではなく、市全体の活性化を図る上で、西区を西の拠点都市と位置づけるなど重要な場所であり、フルーツ・フラワーパークのように道の駅として再整備するなど、早期に有効活用をはかるべきと考えるが、見解を伺いたい。

#### 岡口副市長 答弁

現在の神戸ワイナリー(旧農業公園)は市街地近郊に位置し、緑豊かな自然環境に恵まれた立地であり、市全体の活性化をはかる上で重要な拠点となりうる貴重な空間であると考えている。

これまでも、農業公園時代から市域観光の一翼を担う施設として、多いときは年間六十万人の入園者があり、神戸ワイナリーとして現在も年間二十万人の方にご利用いただいている。



「道の駅」としての再整備については「フルーツ・フラワーパーク」での実績もあり、集客効果や地域の活性化などに繋がるとともに、周辺の魅力ある観光資源とのネットワーク化により、地域の観光振興に寄与する可能性もあると認識している。

この「道の駅」の設置に関して、国土交通省の見解によると、このワイナリー、農業公園は交通量や立地条件等から、基本的な要件は満たしていると聞いている。

民間活力の導入、事業者が前提なので、一生懸命複数の事業者とそういった視点を踏まえて、具体的な事業展開について意見を交換を踏まえながら事業計画を進めているところである。

旧農業公園の活用については、ご指摘の観光や農業振興面も踏まえ、民間活力の導入も視野に入れながら総合的に検討し、今後、具体的な整備計画の策定にスピード感を持って取り組んでいきたい。

平成三十一年度 第三回定例会(十一月議会) 一般質問

### 都市計画道路の 整備について

### 岩岡・神出線の 整備について

質問



岩岡神出線における岩岡のバイパス区間の整備については、現道区間の交通量が多く、通学路の一部には歩道がないなど、交通安全上の問題を抱えているため、地元住民からは早期整備が期待されている。平成二十八年三月に市が発表している「みちづくり計画」では、岩岡神出線は「十年以内に事業着手を目指す路線」に位置づけられており、地元からも早期の全線整備が望まれているが、事業着手に向けた現在の進捗状況を伺いたい。

#### 岡口副市長 答弁

岩岡神出線は第二神明道路大久保インターから国道175号神出町田井付付近に至る延長約6.4kmの都市計画道路で、岩岡町岩岡のバイパス区間約1.8kmと国道175号取付部の約100mが未整備となっている。

現在、事業着手に向けた準備を進めているところであるが、全線にわたって事業化

することは事業費や事業期間の面から難しいため、未着手区間のうちでも早期に整備することで高い効果が見込まれる大久保インターから北側約200mの区間について、暫定2車線の整備案をとりまとめ、関係者協議に着手したところである。

この区間の整備により、大久保インターから神戸二見線を通り国道175号に繋がる新たなネットワークが確保され、現道への交通集中が緩和されることで、通学路の安全性向上が期待される。

また、通学路以外にも、狭い生活道路への抜け道利用がなくなることで、周辺地域の安全性向上にも寄与すると考えられる。

まずはこの区間をできるだけ早期に事業化できるよう、引き続き関係者との協議を進めていきたい。

### 玉津大久保線の 整備について

質問

西区玉津町と明石市の大久保地区をつなぐ新たな幹線道路として整備が計画されている路線であり、地元住民や明石市からは早期の整備が求められているが、埋蔵文化財調査の必要があり、調査に七年かかるかと聞いている。

調査に時間を要することは理解できるが、調査開始までの期間をできる限り短縮するなど、早期整備に向けた取り組みを加速させるべきと考えるが、見解を伺いたい。

議員になるまでの経歴で、どこに勤めたのかではなく、何を行ってきたのか、どのような責任のある立場を経験したのかが大事だと感じます。  
我々議員は、それまでの社会経験で培った規範意識や倫理観がとても大切であり、善悪の判断が出来なければなりません。  
当たり前の事ですが、その様な議員が増えれば神戸市政はもっと良くなり、明るく市民とともに発展し、素晴らしい神戸の未来に繋がっていくものと信じます。

#### 油井建設局長 答弁

玉津大久保線は、国道175号の西区役所の南側から明石市境に至る延長約1.6kmの都市計画道路で、明石市で計画中の江井ヶ島松陰新田線と一体となって、玉津大久保線のネットワークを形成する道路である。  
明石市側を含めネットワークが形成されれば、王塚台や森友などの神戸明石線の渋滞改善に加え、明石市と西区のさらなる交流促進も期待されることから、早期着工を求める地元からの声も大きいと十分認識している。

事業化に向けては、明石川やため池を横断する橋梁区間が長く多額の事業費を要するため、事業費を削減できる方策を検討するとともに、効率的な進め方の検討も併せて進めているところである。

また、ご指摘の埋蔵文化財調査も事業化後に行うことになるため、事業化前から教育委員会と協議し、着手後速やかに進むよう調整していきたい。





ここに神戸市当局と市職労との協議事項

組合との団体交渉も、労働条件について話し合うためのものである。ながら条例の運用もずさんであり、労使交渉で本来話すべきでない管理運営事項について話しているならば大問題である。交渉について管理運営事項は当然対象外とし、労働条件のみとする厳格な運用を条例で縛るべきと考えるが、見解を伺いたい。

久元市長 答弁

管理運営事項は職員団体との交渉事項にはならないが、管理運営事項であっても勤務時間や安全衛生など、勤務条件への影響があり得るものについては、職員団体等との間で交渉を行うことはあり得ると考えている。これは、各自治体に共通した法律解釈・判断だと思いが、交渉の対象とするか否かについてはかなり曖昧な面がある。しかし、管理運営事項そのものが対象となったり、政策判断に対して、職員団体が介入したりということにはあてはまらない。今後の職員団体との交渉内容・手法などの精査をし、改善が必要と判断される場合には必要な措置を講じてまいりたい。

管理運営事項を交渉の対象外とすることなど、交渉事項の明確化・ルール化は、非常に重要なことと認識している。この点については、第三者委員会での調査などを踏まえた上で、本市における改善方法について検討してまいりたい。

再質問

がある。人事異動にあたり配慮を要する事項として、「事前協議事項、平成二十四年十二月に妥結。二十五年度の異動から、支部副支部長、書記次長、青年女性部長、女性部長は事前協議の対象外とする。五十七歳以上の職員の異動については、異動させないことを原則とし、異動させる場合には、事前協議とする。」というものを双方で取り交わしている書類がある。これについては、管理運営事項に触れないというのか。

久元市長 答弁

市長に就任してから、どのような労使交渉をしているかについて報告を受けたことはほとんどない。賃金確定、定数交渉と言われることを無事に終えたという報告があるのみである。ご指摘のあったことも含めて、当局においてしっかりと検証を行い、管理運営事項そのものが交渉対象になっていないのであれば、それは見直していかなければならないと感じている。

質問

出退勤記録について

実現しました

ヤミ専従の温床となった背景として、非常に規範意識が薄れていたことがあるのではないかと。出退勤記録の規約等については、出勤時は記録されているが退勤時は全く記録されていない職員がいる。出勤時は押すように規定されているが退勤時は通知のみである。退勤時は15%の職員が押していないと聞いているが、この通知の考え方についての改正や、退勤時にタイムカードを押さなくてもいいという考えに至ったのはどういったところか。

岡口副市長 答弁

ご指摘の通り、直近の退勤記録の実績を見ると平成三十年七月では86.3%となっており、周知徹底の必要があると認識している。事業者は労働者の労働時間の状況を把握しなければならぬことが義務づけられたことも踏まえ、出勤管理同様、退勤管理についても規定に盛り込むなど、周知徹底を図れるよう法の施行を待たず速やかに対応したい。

総務財政常任委員会

(NHKオンラインニュースにて放映)

神戸市職員の職員団体等の活動における職務専念義務違反に関する第一回調査委員会の開催

市当局としてコンプライアンスは遵守すべきであり、行財政局がヤミ専従を事実上認めていることが続くことは許されるわけではない。長年の慣行としてあったようだが、これは現委員長(当時・現在は退任)だけでなく、前委員長(当時・役員も含めて徹底的に対処していかなければならない。行財政改善懇談会の委員として市職労及び市従の委員長が出席しているが、ヤミ専従に関わる当事者が職員代表とはどういうことなのか。

質問 自由民主党 佐藤委員長

行財政改善懇談会の委員として市職労及び市従の委員長が出席していた。私も事務局を担う者としても、こういった事態になっている中で職員代表として出席させたことについて配慮が足りなかったのではないかと考えている。今後についてもこの事態を深く受け止めており、ご指摘の趣旨を踏まえ、改善の方向で検討したいと考えている。

遠藤局長 答弁

神戸市に採用され、最初に幻滅したのは、新人研修後の労働組合勧誘のやり方だという声が多数寄せられている。新人研修として現場職員による職場最前線の話として講義があるようだが、これも職員労働組合の委員長が講義をしているというのを聞いています。委員長の講義の後に、職員労働組合への加入申込書が配られ、加入しなければならぬという雰囲気の中で、労働組合に加入しているという声も届いている。このような新人研修の仕組みは改めさせるべきと思っかがか。

再質問 新人研修後における組合勧誘活動について

実現しました

新規採用研修については、新規採用職員に対して、各所属へ発令する前に進んでいる研修である。先輩職員という位置付けで結果的に委員長が講師を務めるということが慣例になっていた状況である。ご指摘があったように、研修終了後から引き続きのタイミングでの加入手続きが始まっている。組合への加入を誘導しているのではないかと、また新規採用職員が加入希望の有無に関わらず、会場を退出しづらい状況になっており、若い新人職員に対しての配慮も欠けていたのではないかと考えている。そういったご指摘の点を真摯に受け止めて、今後見直しを図っていきたくないと考えている。

遠藤局長 答弁

ご指摘の点については、併護士による調査委員会の最終報告書によると、「神戸市における組合執行部役員の日常的な職務専念義務違反は、昭和二十四年のレッド・バジーにその端緒が求められるものであり、その後、市職労等の本部執行役員は、特段の業務命令がない限り、勤務時間内においても自由に組合活動に従事できるようにしたと考えるのが相当である。」と括弧について、以上のことから神戸市におけるヤミ専従問題は、昭和二十四年頃から慣行となっていたと考えられ、自由民主党神戸市会議員団が中心となり、議会において一部の組合幹部による職務専念義務違反(ヤミ専従)の温床となった退勤時におけるタイムカードが規程でなかったこと、新人研修における組合加入への強い勧め、政策や予算人事や職制など管理運営事項に関する違反等について、議会にて追求し、これらの問題を質しました。

質問

チェックオフ制度について

採決しました

総務財政委員会にて自民党主導で廃止に向け採決いたしました。チェックオフ制度についても問題だと思っっている。自由意志を尊重せず組合に加入した職員に対して、神戸市がチェックオフつまり給与から労働組合費の天引きを行っている。地方公務員法上の職員団体である神戸市職員労働組合のチェックオフ廃止については労働組合法の不当労働行為にあたらず、大阪市の例のとおり裁判において廃止となっても議会の条例制定という住民自治の意思が優先され、裁判にも大阪市側が勝訴していることから職員団体のチェックオフは廃止すべきと考えるかがか。

遠藤局長 答弁

組合費のチェックオフについては、市職は給与条例、市従は労使協定をもとに行っている。チェックオフについては労組へ支配介入、経費の援助にあたらぬ、不当労働行為にあたらぬという厚生労働省の見解があり、政令指定都市でも二市を除く十八都市

では無償で行っている状況である。これを行うことによって事務負担が特に過大になっているわけでもなく、現在行っている状況にあるので、これをやめるということは少し難しいものがあると考えている。適切に対応すべきところは対応して、あらゆる方向から見直しを検討したい。

ヤミ専従問題に取り組み私を感じたこと

今回のヤミ専従問題について、併護士による調査委員会の最終報告書によると、「神戸市における組合執行部役員の日常的な職務専念義務違反は、昭和二十四年のレッド・バジーにその端緒が求められるものであり、その後、市職労等の本部執行役員は、特段の業務命令がない限り、勤務時間内においても自由に組合活動に従事できるようにしたと考えるのが相当である。」と括弧について、以上のことから神戸市におけるヤミ専従問題は、昭和二十四年頃から慣行となっていたと考えられ、自由民主党神戸市会議員団が中心となり、議会において一部の組合幹部による職務専念義務違反(ヤミ専従)の温床となった退勤時におけるタイムカードが規程でなかったこと、新人研修における組合加入への強い勧め、政策や予算人事や職制など管理運営事項に関する違反等について、議会にて追求し、これらの問題を質しました。

不正受給問題について

自民党神戸(解散)による会派ぐるみで不正を行っていた政務活動費不正受給問題は、3名の議員が辞職したことで一定の解決が見られますが、いくら厳しいルールを設けたとしても、それを無視する議員がいればルールは意味を成さないこととなります。今回の三名のように議員秘書から議員になった者は、テクニックを共有し、今回の

### 平成三十一年度 第二回定例会(十一月議員 一般質問)

## オールドタウンへの 若年世帯の 呼び込みについて

質問

計画的開発団地ではオールドタウン化が進んでおり、今後いかに若年世帯をまちに呼び込み、多様な世代が居住する持続可能なまちを構築するかが重要な課題である。開発団地で商業施設等の管理運営を行っているOMこうべは、大幅な赤字を確保しているが、その収益は開発団地内に十分に再投資されているとは言えないと感じる。将来的にまちが衰退すれば、OMこうべの収支悪化にも繋がることになる。持続可能なまちづくりの観点から、開発団地へ若年世帯を呼び込むための投資を積極的に進めていくよう、市からOMこうべに働きかけるべきと考えるが見解を伺いたい。

久元市長 答弁

平成二十五年度よりオールドタウン化対策として、計画的開発団地のリノベーション事業に本格的に着手した。各ニュータウンの特性や住民ニーズを対策の実施に活用できる用地の有無などを勘案しながら、エリア毎に具体的な対策手法の検討を開始した。そのような中で、若年世帯のまちへの呼び込みは重要な視点と認識している。OMこうべの利益還元については、これまで市会でご指摘をいただいております。若年世帯を呼び込む施策は、人口減少社会の進展に歯止めをかけるうえで重要である。そのうえで、OMこうべがオールドタウンの一員として活動できるように、最大の出資者である市としても十分にOMこうべに働きかけ協議していく。

再質問

実現しました

若年世帯の呼び込み策については、まちの活力を落とさないためにも若年世帯から高齢世帯まで混在した地域をつくるべきである。例えば、OMこうべは開発団地における商業施設の管理運営しており、そこで得た利益の再投資を行い、まちの活力が落ちないような手を打っていくべきと思う。今、不動産業者と相談をしているとのことだが、OMこうべが中心となつてどのように若年世帯を呼び込む事ができるかの案があれば伺いたい。

岡口副市長 答弁

民間不動産会社へ情報提供すれば、市場に流通できる中古住宅は十分にあると聞く。活用して仕組みを作りその成果も期待できると考えるが、民間事業者で手に負えない部分が出てくることも想定し、実際そうした物件もいくつか把握をしている。必要であれば市でそういった物件を、若年世帯のニュータウン呼び込みという視点を持って、方向性に沿った形での取り組みを考えていきたい。まずは仕組みづくりと重点の絞込みの段階であると考えていた。



## 建設工事に係わる 入札制度について

質問

実現  
平成31年4月~

工事以外の入札参加要件の社会保険加入の義務付けについて「実現・平成三十一年四月」

工事請負入札については、公平で健全な競争環境を構築するという観点から、社会保険等に加入している事業者であることを入札参加資格登録の要件としている。一方で、工事請負以外の入札については、そういった要件が設けられていない。今後、さらに健全な競争環境を実現するためには、工事請負以外の契約についても、同様の要件を適用していくべきと考えるが見解を伺いたい。

岡口副市長 答弁

工事については、平成二十八・二十九年度の入札参加資格より、社会保険つまり健康保険・厚生年金保険・雇用保険の加入を登録要件としている。公共工事に携わる建設業者は経営事項審査の受審が義務付けられており、通知書により社会保険加入の有無を確認している。

工事以外の入札参加資格では、現在、社会保険加入を要件としていない。要件とする場合、経営事項審査のような仕組みがないことから、事業者としては提出資料が増加し、また本市としても約4,300社の入札参加資格審査の事務量が膨大となるという課題がある。一方、公平で健全な競争環境を実現する観点から社会保険加入の重要性は認識している。工事以外の入札参加資格に社会保険の加入を求めている都市もあることから、他都市の運用状況なども参考に、次回平成三十一年度受付・登録での社会保険加入の要件化について

## 技術・社会貢献 評価制度について

質問

実現  
平成32年4月から  
導入予定

て、事業者負担の軽減等にも考慮しながら、健全な競争環境の実現に向け、具体的な検討を進めたい。

兵庫県の工事請負入札制度では、事業者の社会貢献の促進を目的に、社会貢献度の高さを入札参加資格の評価項目として活用する「技術・社会貢献評価制度」を導入しており、その対象業務は建設工事のみならずそれに付随する測量業務等にも及んでいる。本市の工事請負入札制度においても、県と同様の趣旨の評価制度は導入されているが、対象業務が建設工事のみに限定されている。事業者による社会貢献活動を更に促進するため、県と同様に、対象業務を建設工事以外の業務にも広げるべきではないかと考えるが見解を伺いたい。

岡口副市長 答弁

測量などの業務について、兵庫県の状況に本市では考慮していない。本市では水道や下水道の設計業務など、希望している地元業者が少ない分野もあり、入札参加機会に差をつける、競争性の確保の面から課題があるという考えであった。

しかし、本制度を本市に導入した場合、技術力の向上や社会貢献活動の促進など、一定の効果が期待できることから、兵庫県や他都市の入札要件を十分調査し、制度の導入に向け検討したい。



お知らせ 認知症の人にやさしいまち「神戸モデル」1月28日より開始されました

# 認知症診断無料

神戸市民で65歳以上の方は無料で診断が可能です

<今後、スタートする制度(予定)>

- 最高2億円の賠償責任保険への加入 ●24時間365日対応コールセンター ●GPSかけつけサービス ●見舞金最高3,000万円



ご相談・お問い合わせは...

神戸市議員 西区選出  
**佐藤 公彦**まで

<http://kimihiko.info>

自由民主党神戸市議員団

<市会控室>

〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1 神戸市役所1号館28階  
TEL078-322-5846・FAX078-322-6164

<佐藤公彦事務所>

〒651-2272 神戸市西区狩場台1-26-14  
TEL078-766-4457・FAX078-766-4458

E-mail:sato@kimihiko.info



神戸市の総合窓口です

●ご活用下さい●

神戸市総合コールセンター

年中無休(8:00~21:00)

TEL078-333-3330

**神戸市会議員（西区）二期目**

# 山下てんせい

vol.12 改

皆さんこんにちは 暖冬となった 2019 年ですが時折厳しい寒さが続き、先日は西区でも雪が舞いました。一方で春の足音は確実に近づいております。予算審議も終了しましたので、西区で話題となっている事柄について実態をお伝えするとともに、山下てんせい 4 年間の活動を報告させていただきます。



## 「市営地下鉄西神・山手線と阪急電鉄神戸線の相互直通運転の検討について」

この件について神戸市会の議事録を紐解きますと、最初に話題として登場したのは平成 16 年の決算特別委員会、公営企業会計決算審議において、私の父、**山下まさたけ元市議**が質問しておりました。当時の松田交通局長は「近畿地方交通審議会における次期の将来鉄道計画の中で、既存の鉄道施設の改良事業の検討対象として上がっている。しかし多くの課題がある」と回答しておりました。

その後平成 17 年予算特別委員会第 3 分科会において、現在の自由民主党神戸市会議員団団長である**安達議員**が、具体的な推進理由とともに質問をされており、**以後一貫して神戸市営地下鉄と阪急の相互直通運転を推奨してきました。**

以降度々、多くの議員が当該質問を行っておりましたが、平成 25 年第 2 回定例市会において、**安達議員の質問に対し久元市長は相互直通の課題を述べた後、**

**「しかしながら、今後、人口減少社会が到来する中で公共交通のネットワークをいかに活用するかは、まちづくりの観点からも重要な課題である」**

と前向きな答弁をされたことで潮目が変わり、前向きな議論が開始しました。

一方平成 30 年 9 月、産経新聞で「**神戸地下鉄快速復活へ 阪急との乗り入れ視野**」との報道がなされました。**これは誤報であり**交通局は 10 月 1 日に市の HP においてその旨報告されました。

**しかし、さも決定したかのような情報の流布について懸念を抱いております。**そこで現在の状況を、住宅都市局計画部公共交通課の飯塚課長に伺いました。



### check!! 相互直通運転の検討について

相互直通運転については、これまで、平成 26 年から阪急電鉄と神戸市で継続的に勉強会を開催し意見交換を行っています。その中で、接続場所については、三宮の接続の他、複数の候補の中からどこが適切か議論を進めています。

平成 30 年度からは、神戸市と阪急電鉄でお互いに予算を計上し（平成 30 年度当初予算 1000 万円）、共に相互直通運転の実現可能性について本格的な検討を開始しています。現在、相互直通運転と関連する路線の今後のあり方や事業効果・採算性等の検討を進めているところです。



# 山下てんせい議員通知簿

2015.6～2019.2

## 議会活動

本会議出席	皆勤	◎
常任・特別委員会出席	視察も含め皆勤	◎
本会議代表・一般質問	5回	○
予算決算局別質疑	のべ14回	○
常任委員長	2回（2015 企業建設、2016 総務財政）	○
特別委員会副委員長	1回（2017 大都市行財政）	○
特別委員会参加	4回（2015・2016・2018 外郭団体、2017 大都市行財政）	◎
会議録発言文書数	88（2018/12/11 現在 未収録除く）	◎
8年間通算文書数	185（二期目議員1位）	◎
8年間通算発言数	1815（二期目議員3位）	○

予算や決算における局別質疑回数は減少しました。しかしその分、質問時間は十分に与えていただきましたので一期目に比べて実のある質疑ができました。また特別委員会におきましてはもはやライフワークともいえる外郭団体に関する特別委員会に鋭意参加し、様々な提言をいたしました。

## 議員連盟役職

日印友好神戸市議員連盟 事務局長  
 ボーイスカウト神戸市議員連盟 事務局長  
 木材利用推進政令市議会議員連盟 事務局

その他さまざまな議員連盟に会員として参加しています。

二期目にして重要な役をいただき、精一杯つとめさせていただいております。

神戸市とインド国とは歴史的なつながりが深く、また在神戸インド人の多くがグジャラート州出身です。北野には彼らの信教であるジャイナ教の寺院がありますが、これは日本唯一のものであります。こういった背景から、神戸市会では日印友好議員連盟を結成し、また兵庫県とグジャラート州が協力提携を持っていることから、州最大の都市であるアーメダバード市との経済協力をはじめとする包括提携を目指しています。

またボーイスカウトに関しては、少子化傾向からの慢性的な団員不足を回避し、ボーイスカウトの理念を守るために活動しております。木材利用推進については、私の政策テーマである、環境問題や昨今の異常高温対策について最も効果的と考えるカーボンオフセットの延長線上にあります。その究極の目標は「都市を冷やす」ことにあり、都心における木材利用を推進する活動に協力しています。

## (プロフィール)

昭和49年12月8日生まれ（44歳）血液型B型 身長187cm 西区春日台在住 本籍地は鹿児島県始良市 春日台小、白陵中、白陵高、横浜国立大学経済学部経済法学科卒業。父は、元市議員 山下まさたけ。12年間のサラリーマン生活を経て、2011年執行の神戸市議会議員選挙にて初当選。現在2期目

## 代表的な役職

◆春日台防災福祉コミュニティ FAST 班長 ◆日本ボーイスカウト神戸第70・73 団育成会会長  
 ◆神戸鹿児島県人会 青年部長 ◆白陵会（同窓会） 理事



## 山下てんせい議員が4年間に取り組んだ活動の一部をご報告します

### ニュータウンの活性化 2017～

ニュータウンに住んでいるみなさんが、買い物やグルメを楽しむために、外周道路のへた地活用やコミュニティビジネスへの支援を進めていただけるよう要望。またスーパーの撤退などによる買い物の難民を生み出さないために、移動販売車の手配を呼びかけ JA・コープの協力を得る。

### 悪徳水道業者排除 2015～

悪徳民間水道業者に関し、神戸市水道サービス公社に協力を要請。集合住宅の水回り相談や簡易な漏水修繕、神戸市管工事業協同組合との連携による啓発や修繕受付を推進。下水道についても2017年に同様の質問をしました。

### 看護大学の独立法人化 2011～

看護大学のあり方について、保健福祉局の部局として庇護のもとにあることを指摘してきました。平成31年4月に公立大学法人へと移行し、一本立ちへ。

### 青色パトロール団体支援 2017～

青色パトロール団体に対して、ドライブレコーダーや燃料費に対する手当ても必要と要望。2019年度予算に活動報償制度という項目が加わり、青色パトロールの実績により報償金がいただける仕組みが新設予定。

### 食の多様性に寛容な神戸へ 2018～

ベジタリアン（菜食主義者）の方々の悩みやハラルの考え方を取り入れることが、国際都市神戸には不可欠。そこで神戸発信となる情報提供や、食材表示に関するサインの研究を提案。ひいてはこれが、農業振興にも効果を発揮すると思えます。

### クリエイター育成、新産業創出 2017～

神戸市のクリエイター育成のフィールドとして KIITO の外に活躍の場が少ないと指摘、久元市長の考える都市型産業の集積が薄いという点で意見が一致。神戸市西部地域（海岸線沿い）の空き倉庫や空きスペースを活用したデザイナーズタウンのようなものを提案しその実現に向け進行中。

### なでしこホールの音響問題 2016

市民からの指摘により不満のあった西区民センターのなでしこホールの音響について質問、随時様々な改善を促す。後に市長公約の中の「西区に新ホールを建設する」につながった一つの要素になりました。

### 民間経験者採用の年齢制限見直し 2016

神戸市において当時32～38歳の層が著しく少ない点と、採用制限が28～35歳であったことを指摘。翌年からの採用制限を39歳までに引き下げ。

### 中古不動産流通促進 2014～

オールドタウン化を見据え、空き家対策の一環として中古物件流通促進についての提言を続けています。また老朽化家屋対策にも鋭意取り組んでおります。

### 音楽に触れるまち神戸を目指して 2014～

国際フルーツコンテスト存続について、会派をあげて応援。また街中にフルーツをはじめとする音色が溢れる環境づくりを推進し、その一環として2018年三宮駐車場他のBGMにフルーツコンテストの音源を採用することが実現しました。

市会西区 山下てんせい議員の活動は

facebook

またはホームページにてご覧ください。

山下てんせい

検索

会派 HP <http://www.jimin-kobe.com/>



# 「西区新庁舎整備について」

## 神戸市西区庁舎整備に関する要求水準書が、10月に行財政局から提出されました。

西区役所移転に関して議事録を紐解きますと、これも平成13年の決算特別委員会第一分科会において私の父、**山下まさたけ**が質問しておりました。当時は押部谷近辺および伊川谷近辺の方々が、サービス窓口が出張所になった事で不便になり西神中央出張所に来られている実態を述べ、西神中央の機能強化を求めるものでした。

平成25年第1回定例会市会一般質問において、私、**山下てんせい**が西区役所移転について質問し、当時の**久元副市長**より以下のような答弁がありました。

「地域団体などから区役所移転の声が出てきていることも事実であります。(中略)長期的な視点で考えた場合、移転も検討すべき事項の一つと認識しております。西神中央周辺のまちづくりの状況や、区役所と出張所の利用状況などにも留意しながら西区民に対する行政サービスのあり方として、将来的にどのような形がいいのか、研究課題とさせていただきます」

そして区役所移転が現実のものとなりました。事業主体は、当該建築予定地の管理運営を行っているのがOMこうべなので、行財政局としてこのような水準の建物を設計するように指示するものが「要求水準書」です。

**建築面積は約3,000㎡、延床面積は約9,500～10,500㎡、地上6階建てです。**

地域性について「西神中央地域は、自然環境に恵まれながらも先端産業や学びの場が集積する地域となっている。(中略) **新区庁舎にも地域のシンボルとなることが要求される**」また景観性について「長らく区民に

親しまれる永続的なデザインとする。**また積極的かつ効果的に木材利用及び緑化を図ること**とありおよそ我が会派が要望したことがしっかりと盛り込まれております。

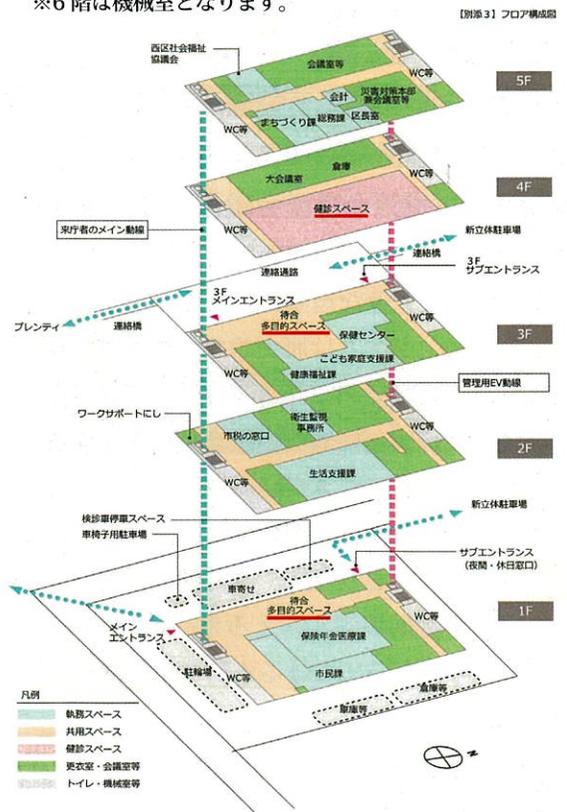
メインエントランスは3階となり、1階と3階には「**展示やイベント等、多目的に利用できるスペースを設置すること**」との記述があり広く確保されました。また「**アクティビティが外部から見える空間とするとともに木材を積極的かつ効果的に利用した象徴的な空間とする**」とあります。

一方バリアフリー対策もしっかり考えられており福祉計画の中で「**誰でも自力で円滑に目的地まで到達できる**また、全ての利用者にとって安心、安全かつ快適に利用できるよう、バリアフリーやユニバーサルデザインの視点に十分に配慮すること」とあります。

また4階には検診スペースが820㎡確保され乳幼児健診におけるストレス軽減が期待されます。

今後は、**パブリックに提供される会議室等の確保や新庁舎への動線、親子連れで憩えるスペースの確保等**地域の皆様のお声をいただきながら提言を続けていきます。

※6階は機械室となります。



神戸市会議員（西区）二期目

# 山下てんせい

vol.12



皆さんこんにちは 暖冬となった 2019 年ですが時折厳しい寒さが続き、先日は西区でも雪が舞いました。一方で春の足音は確実に近づいております。今回は予算審議を前として、西区で話題となっている事柄について実態をお伝えするとともに、山下てんせい 4 年間の活動を報告させていただきます。

## 「市営地下鉄西神・山手線と阪急電鉄神戸線の相互直通運転の検討について」

この件について神戸市会の議事録を紐解きますと、最初に話題として登場したのは平成 16 年の決算特別委員会、公営企業会計決算審議において、私の父、**山下まさたけ元市議**が質問しておりました。

当時の松田交通局長は

「近畿地方交通審議会における次期の将来鉄道計画の中で、既存の鉄道施設の改良事業の検討対象として上がっている。しかし多くの課題がある」と回答しておりました。

その後平成 17 年予算特別委員会第 3 分科会において、現在の自由民主党神戸市会議員団団長である**安達議員**が、具体的な推進理由とともに質問をされており、**以後一貫して神戸市営地下鉄と阪急の相互直通運転を推奨してきました。**

以降度々、多くの議員が当該質問を行っておりましたが、平成 25 年第 2 回定例会市会において、**安達議員**の質問に対し久元市長は相互直通の課題を述べた後、

**「しかしながら、今後、人口減少社会が到来する中で公共交通のネットワークをいかに活用するかは、まちづくりの観点からも重要な課題である」**

と前向きな答弁をされたことで潮目が変わり、前向きな議論が開始しました。

一方平成 30 年 9 月、産経新聞で「神戸地下鉄快速復活へ 阪急との乗り入れ視野」との報道がなされました。**これは誤報であり**交通局は 10 月 1 日に市の HP においてその旨報告されました。

**しかし、さも決定したかのような情報の流布について懸念を抱いております。**

そこで現在の状況を、住宅都市局計画部公共交通課の飯塚課長に伺いました。



### 相互直通運転の検討について

相互直通運転については、これまで、平成 26 年から阪急電鉄と神戸市で継続的に勉強会を開催し、意見交換を行っています。その中で、接続場所については、三宮の接続の他、複数の候補の中からどこが適切か議論を進めています。

平成 30 年度からは、神戸市と阪急電鉄でお互いに予算を計上し（平成 30 年度当初予算 1000 万円）、共に相互直通運転の実現可能性について本格的な検討を開始しています。現在、相互直通運転と関連する路線の今後のあり方や事業効果・採算性等の検討を進めているところです。



# 山下てんせい議員通知簿

2015.6～2019.2

## 議会活動

本会議出席	皆勤	◎
常任・特別委員会出席	視察も含め皆勤	◎
本会議代表・一般質問	5回	○
予算決算局別質疑	のべ14回	○
常任委員長	2回(2015 企業建設、2016 総務財政)	○
特別委員会副委員長	1回(2017 大都市行財政)	○
特別委員会参加	4回(2015・2016・2018 外郭団体、2017 大都市行財政)	◎
会議録発言文書数	88(2018/12/11 現在 未収録除く)	◎
8年間通算文書数	181(二期目議員1位)	◎
8年間通算発言数	1796(二期目議員3位)	○

予算や決算における局別質疑回数は減少しました。しかしその分、質問時間は十分に与えていただきましたので一期目に比べて実のある質疑ができました。また特別委員会におきましてはもはやライフワークともいえる**外郭団体に関する特別委員会**に鋭意参加し、様々な提言をいたしました。

## 議員連盟役職

- 日印友好神戸市議員連盟 事務局長
- ボーイスカウト神戸市議員連盟 事務局長
- 木材利用推進政令市議会議員連盟 事務局
- その他さまざまな議員連盟に会員として参加しています。



二期目にして重要な役をいただき、精一杯つとめさせていただいております。

**神戸市とインド国**とは歴史的なつながりが深く、また在神戸インド人の多くがグジャラート州出身です。北野には彼らの信教であるジャイナ教の寺院がありますが、これは日本唯一のものであります。こういった背景から、神戸市会では日印友好議員連盟を結成し、また兵庫県とグジャラート州が協力提携を持っていることから、**州最大の都市であるアーメダバード市との経済協力をはじめとする包括提携**を目指しています。

また**ボーイスカウト**に関しては、少子化傾向からの慢性的な団員不足を回避し、**ボーイスカウトの理念を守るため**に活動しております。

**木材利用推進**については、私の政策テーマである、環境問題や昨今の異常高温対策について最も効果的と考えるカーボンオフセットの延長線上にあります。その究極の目標は「都市を冷やす」ことにあり、**都心における木材利用を推進する活動**に協力しています。

## (プロフィール)

昭和49年12月8日生まれ(44歳) 血液型B型 身長187cm 西区春日台在住 本籍地は鹿児島県始良市 春日台小、白陵中、白陵高、横浜国立大学経済学部経済法学科卒業 父は、元市議員 山下まさたけ。12年間のサラリーマン生活を経て、2011年執行の神戸市議会議員選挙にて初当選。現在2期目

## 代表的な役職

- ◆春日台防災福祉コミュニティ FAST 班長 ◆日本ボーイスカウト神戸第70・73 団育成会会長
- ◆神戸鹿児島県人会 青年部長

## 山下てんせい4年間に取り組んだ活動の一部をご報告します

### ニュータウンの活性化 2017～

ニュータウンに住んでいるみなさんが、買い物やグルメを楽しむために、外周道路のへた地活用やコミュニティービジネスへの支援を進めていただけるよう要望。またスーパーの撤退などによる買いもの難民を生み出さないために、**移動販売車の手配**を呼びかけJA・コープの協力を得る。

### 悪徳水道業者排除 2015～

悪徳民間水道業者に関し、神戸市水道サービス公社に協力を要請。集合住宅の水回り相談や簡易な漏水修繕、神戸市管工事業協同組合との連携による啓発や修繕受付を推進。下水道についても2017年に同様の質問をしました。

### 看護大学の独立法人化 2011～

看護大学のあり方について、保健福祉局の部局として庇護のもとにあることを指摘してきました。平成31年4月に公立大学法人へと移行し、一本立ちへ。

### 青色パトロール団体支援 2017～

青色パトロール団体に対して、ドライブレコーダーや燃料費に対する手当ても必要と要望。2019年度予算に**活動報償制度**という項目が加わり、青色パトロールの実績により報償金がいただける仕組みが新設予定。

### 食の多様性に寛容な神戸へ 2018～

ベジタリアン(菜食主義者)の方々の悩みやハラルの考え方を取り入れることが、国際都市神戸には不可欠。そこで神戸発信となる情報提供や、食材表示に関するサインの研究を提案。ひいてはこれが、農業振興にも効果を発揮すると思います。

### クリエイター育成、新産業創出 2017～

神戸市のクリエイター育成のフィールドとしてKIITOの外に活躍の場が少ないと指摘、久元市長の考える都市型産業の集積が薄いという点で意見が一致。神戸市西部地域(海岸線沿い)の空き倉庫や空きスペースを活用したデザイナーズタウンのようなものを提案しその実現に向け進行中。

### なでしこホールの音響問題 2016

市民からの指摘により不満のあった西区民センターのなでしこホールの音響について質問、随時様々な改善を促す。後に市長公約の中の「**西区に新ホールを建設する**」につながった一つの要素になりました。

### 民間経験者採用の年齢制限見直し 2016

神戸市において当時32～38歳の層が著しく少ない点と、採用制限が28～35歳であったことを指摘。翌年からの採用制限を39歳までに引き下げ。

### 中古不動産流通促進 2014～

オールドタウン化を見据え、空き家対策の一環として中古物件流通促進についての提言を続けています。また老朽化家屋対策にも鋭意取り組んでおります。

### 音楽に触れるまち神戸を目指して 2014～

国際フルーツコンテスト存続について、会派をあげて応援。また街中にフルーツをはじめとする音色が溢れる環境づくりを推進し、その一環として2018年三宮駐車場他のBGMにフルーツコンテストの音源を採用することが実現しました。

市会西区 山下てんせいの活動は

facebook

またはホームページにてご覧ください。

山下てんせい

検索

会派 HP <http://www.jimin-kobe.com/>



# 「西区新庁舎整備について」

## 神戸市西区庁舎整備に関する要求水準書が、10月に行財政局から提出されました。

西区役所移転に関して議事録を紐解きますと、これも平成13年の決算特別委員会第一分科会において、私の父、**山下まさたけ**が質問しておりました。当時は押部谷近辺および伊川谷近辺の方々が、サービス窓口が出張所になった事で不便になり西神中央出張所に来られている実態を述べ、西神中央の機能強化を求めるものでした。

平成25年第1回定例市会一般質問において、私、**山下てんせい**が西区役所移転について質問し、当時の**久元副市長**より以下のような答弁がありました。

「地域団体などから区役所移転の声が出てきていることも事実であります。(中略) 長期的な視点で考えた場合、移転も検討すべき事項の一つと認識しております。西神中央周辺のまちづくりの状況や、区役所と出張所の利用状況などにも留意しながら西区民に対する行政サービスのあり方として、将来的にどのような形がいいのか、研究課題とさせていただきます」

そして区役所移転が現実のものとなりました。事業主体は当該建築予定地の管理運営を行っているOMこうべなので行財政局としてこのような水準の建物を設計するように指示するものが「要求水準書」です。

建築面積は約3,000㎡、延床面積は約9,500～10,500㎡、地上6階建てです。

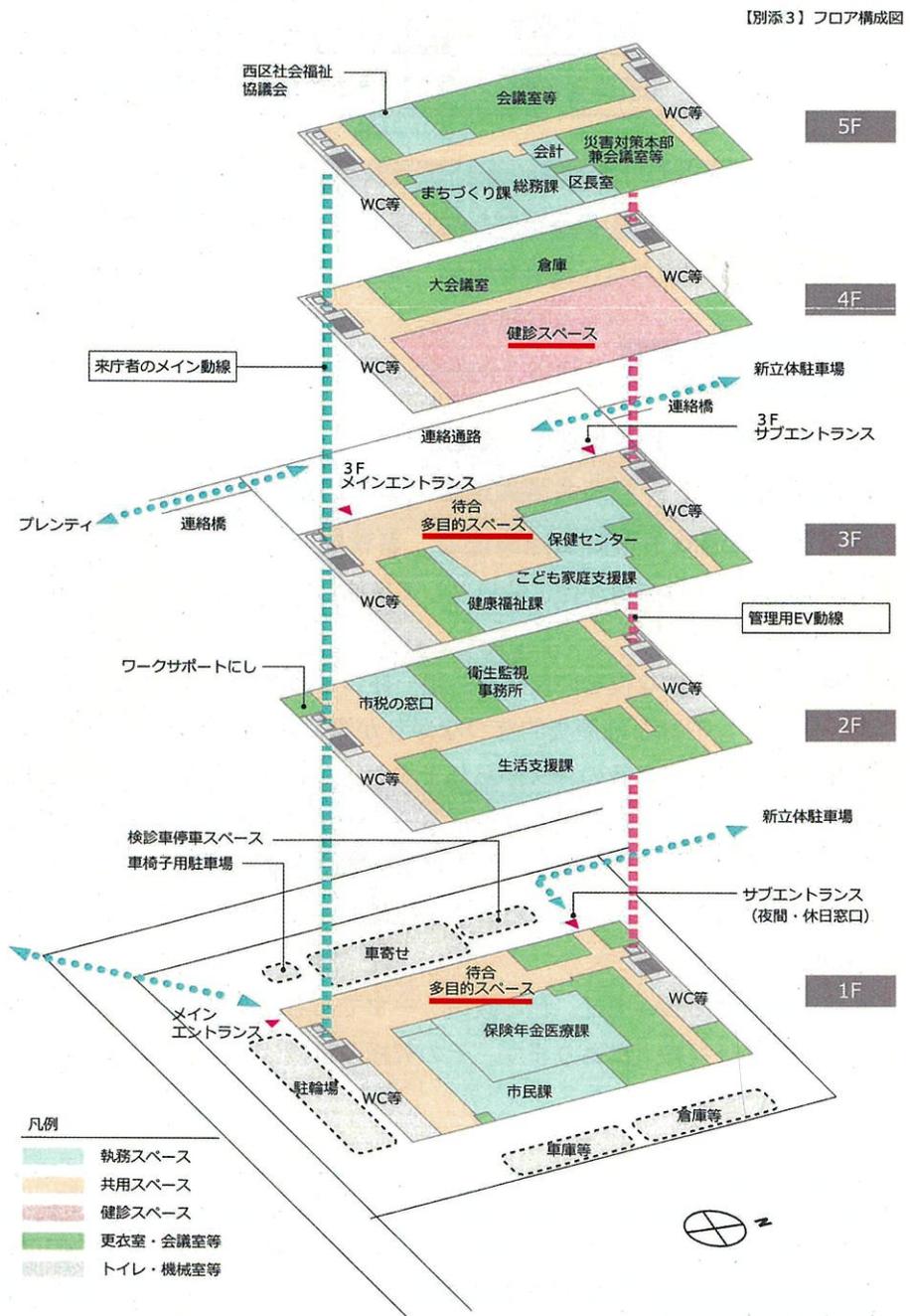
地域性について「西神中央地域は、自然環境に恵まれながらも先端産業や学びの場が集積する地域となっている。(中略) **新区庁舎にも地域のシンボルとなることが要求される**」また景観性について「長らく区民に親しまれる永続的なデザインとする。**また積極的かつ効果的に木材利用及び緑化を図ること**」とありおよそ我が会派が要望したことがしっかりと盛り込まれております。

メインエントランスは3階となり、1階と3階には「**展示やイベント等、多目的に利用できるスペースを設置すること**」との記述があり広く確保されました。また「**アクティビティが外部から見える空間とするとともに木材を積極的かつ効果的に利用した象徴的な空間とする**」とあります。

一方バリアフリー対策もしっかり考えられており、福祉計画の中で「**誰でも自力で円滑に目的地まで到達でき、また、全ての利用者にとって安心、安全かつ快適に利用できるよう、バリアフリーやユニバーサルデザインの視点に十分に配慮すること**」とあります。

また4階には検診スペースが820㎡確保され乳幼児健診におけるストレス減が期待されます。

今後は、**パブリックに提供される会議室等の確保や、新庁舎への動線、親子連れで憩えるスペースの確保等、地域の皆様のお声をいただきながら提言を続けていきます。**



# ごとう 五島

## 神戸市会議員

# だいすけ通信

2019年  
予算号

http://www.goto-daisuke.net mail@goto-daisuke.net

### ごあいさつ



今年度は、福祉環境委員(保健福祉局・環境局)として活動させて頂きました。認知症にやさしい街神戸のための事故救済制度や、メガソーラー施設の問題解決のための条例制定などに関わらせて頂きました。引き続き障害者の親なき後対策や、各福祉施設での人材不足への対応などについても特に質疑を行ったところです。

そしてやはり、交通施策に特に力点を置き、活動をさせて頂いた平成最後の年度でした。

3月8日の予算特別委員会において、平成31年度予算が承認されましたが、皆さまからご要望を受けておりました施策、皆さまと共に取り組んでまいりました施策が数多く実現いたしました。この市政報告では、中面に今予算案で進展した施策をご紹介させて頂き、表裏面にて、本会議や委員会での取り組みをご報告いたします。

多くのご意見ご要望を賜りました事とご支持ご支援に感謝申し上げます。

## 海上コンテナ車のヤード渋滞解消と神戸港のAI化自動化による機能強化を

以前から何度も取り上げていますが、**港湾物流のうち特に海上コンテナのヤード渋滞は劣悪な状況が続き、海コン車ドライバーの皆さんのみならず、荷役～倉庫事業全てに携わる皆さんの労働環境の悪化**を招き、神戸港の生産性を低下させています。この状況を打破するために何度も質疑しています。今回は2月の予算特別委員会での質疑をご紹介します。

**五島** 私の友人も、親戚も、よく話をする物流事業者さんも神戸港の物流事業に携わっており、やはり「ヤード渋滞はひどい、何とかしてくれ。」とされている。六甲アイランドなどに待機レーンを作っているが、これは周辺対策であって運転手の待機時間の短縮には全くつながっていない。

何度も言っているが、ヤード渋滞に対する取り組みとして進展はあるのか？ また今後の取り組みとしてどのようなものを考えて頂いたか？

**みなと振興部長** 現在、**横浜港でCOMPASの実証実験をしているが、待機時間短縮のために、実証実験の成果を見ながら導入を考えたい。**

**五島** そもそものコンテナターミナルゲート空き時間延長やゲート数の増加などもお願いしている、そういう国家予算取りも進んでいないか？

**田中部長** 業界からもそういった声が出てきている、具体的な要望があれば、費用対効果も含めて阪神国際港湾と連携して検討していきたい。

**五島** 是非進めて頂きたい。

**五島** ターミナルの自動化については、ヤード渋滞解消にもつながりヤードの人材不足に対応するためにも進めなければならない。世界の大水深バースを持つ取扱数上位20のコンテナターミナルのうち75%が自動化を行っている。この**神戸港は国際戦略港湾と言っているのだから、自動化をもっと推し進める必要があると思うが、**どういう取り組みをしていくのか？

**辻みなと総局長** 来年度RTGの補助制度が創設され、国が民間事業者に対し、補助の公募を始める予定である。神戸港でも高い関心があり、ターミナルの効率的な運営を図り、**港湾労働者はもとより、運転手の方々にとっても負担軽減につながるようなオペレーションシステムの構築を進めていきたい。**

**五島** いま、世の中で働き方改革が進められているが、港湾物流を見ると、やはりヤード渋滞が元凶となり、海コンドライバーだけでなく、その先の倉庫・海貨事業者までもが、コンテナがヤード渋滞にはまると、**残業を余儀なくされるなど、非常に非効率な労働環境である。のんびりしているのは人材不足が進み、神戸港に荷物が集まらなくなる。**

ヤード渋滞についても抜本的な対策を、そしてターミナルの自動化も**ゆっくりではなく、革新的に進め、手遅れにならないようにして頂きたい。**

**みなと振興部長** 待ち時間の悪影響が、神戸港の競争力低下につながるよう、業界の声を聞きながら対応して参りたい。



これがRTGです!

### ごとう 五島だいすけ

#### PROFILE

昭和52年7月4日、神戸市北区鈴蘭台西町に生まれ、育つ(五島虎雄元衆議院議員の孫)

- 聖ミカエル南五葉幼稚園
- 神戸市立北五葉小学校に入学
- 神戸市立星和台小学校を卒業
- 神戸市立星和台中学校卒業
- 兵庫県立兵庫高等学校卒業
- 兵庫県立神戸商科大学商経学部卒(現兵庫県立大学)
- 福祉環境委員会 委員
- 外郭団体に関する特別委員会 委員
- 五島公認会計士税理士事務所代表
- 兵機海運株式会社 社外取締役
- 一般社団法人 兵庫文化芸術スポーツ振興財団 理事
- 神戸北スポーツ推進協会 顧問
- HBCA(兵庫ベースボールコーチングアカデミー)顧問
- 一般社団法人eスポーツ連合 兵庫支部支部長
- NPO 法人 ママキラ応援パーク 監査理事
- 社会福祉法人 ゆりかご(こども園) 監査理事

### 横浜港などで実験が始まっているCOMPASシステム



予約制度により搬出時ゲート前待機時間5割削減、PSカードにより手入力なくなりゲート部所要時間2割削減などの効果あり

# 政策実現のため、議会や委員会で、また会派として

## 幼児教育の無償化

実現  
します

国策であるため、直接神戸市の実績というところではありませんが、無償化に伴うメリットデメリットに対する対応を本市が行う必要があります。

3～5歳児	無償化
0～2歳児	住民税非課税世帯について無償化

認可外保育施設等については保育に必要性が認められる場合について

3～5歳児	月37,000円の補助
0～2歳児	月42,000円の補助

### ○消費増税がなくても無償化になるのか？

10月より無償化開始、国レベルで大きく見ると消費増税分を財源としますが、国においても消費税増税とは別途予算確保がされているため、リーマンショック級の不況があった場合など消費増税が見送られたとしても、無償化は行われます。

### ○無償化になると、預け得のような状況になってしまわないか？

#### 園があふれるのでは？

「タダなんだから預けなきゃ損」という事にはならないよう、保育の必要性については以前同様判断が伴います。また、保育枠についても増加をさせる予算組みをしています。

## 待機児童の解消

前進  
しました

保育所整備などにより**保育定員を1,200人増加**させます。

無償化されると言っても、保育枠がなければ意味がありません、本年も1200名の定員増加を予算化しております。現状、幼稚園にも保育園にも行っていないこどもが、3歳児：1700名 4歳児：700名 5歳児：600名(平成30年)となっており、3～5歳児全体の36,900名に対して3,000名という割合です。今後は子供の数自体が減少することもあり、果たして保育枠を増加させ続けることが良い事なのか？**家庭での保育に対する手当ての検討についてもしっかり議論**をして参ります。



## 任意予防接種費用の助成拡大

実現  
します

**インフルエンザ** 1～12歳児の1回目の接種助成額を 1360円⇒2000円に増額

**ロタおよびおたふくかぜ** 2019年4月以降の出生児が3歳になるまでの間、ロタまたはおたふくかぜのワクチン接種に対して2回まで助成(上限2000円/回)制度創設。

## こども医療費補助

要望  
継続

中学生までのこども医療費、同医療機関について**月内2回まで、1回400円負担／3回目以降は無料**は継続

この医療費補助に20億円の予算が必要で、100円の負担減少のために5億円の税投入をしている計算になります。これを高校生にまで広げる場合は8億円の予算が必要という事です。市民の納める税ですから野放図に使い放題はいかかなものかという考え方から、負担額を400円から500円に上げて、**高校生まで補助を広げる事**(差し引き3億円追加予算)も含め、要望を続けています。

## 電子黒板

実現  
します

2019年から3年間で神戸市立小中学校および市営の学校全てに導入されます。

教員が板書する時間が減ることや、画像・動画を利用するので、**効率的で理解しやすい授業が可能**になるという事です。



電子黒板を活用した授業  
(神戸市資料より)



## 保育人材の支援

前進  
しました

神戸市内在住の1～7年目保育士さんに対して、**月額5,000円を補助**します(7年間で42万円)(新規)

最先端ICT機器を活用し、モデル保育園において**保育士等の業務負担軽減の実証実験**(新規)

**保育人材確保定着支援予算**(7年目までの保育士に対する一時金=7年間最大160万円)・パート職員として復職する場合の一時金(10万円)支給予算 (継続)

## 中学校部活動における外部人材活用

前進  
しました

合計246名 うち外部顧問82名 外部支援員164名 基本的に週3回の勤務で、外部顧問は教員とほぼ同じである単独での指導と校外引率が可能、外部支援員は校内のみで単独での技術指導が可能で、校外引率はできません。

**外部人材の活用が、教員の多忙化対策のみではなく、部活動の活性化**につながるよう取り組んで参ります。

# も取り組んできた結果をご報告いたします!

## 高校生の通学費補助施策

前進  
しました

市営地下鉄において……消費増税のタイミングあわせ、大学生5% 高校生および中学生については10%の割引がスタートします。(消費増税による2%値上げ価格から、5%割引又は10%割引)

なお、北神急行では、昨年9月から実施の通学定期券購入助成が継続。

また、神戸新交通(ポートライナー・六甲ライナー)においても、年間1億円強の財務体制の改善(2015年の五島の質疑で実現)を財源とした通学費割引(以前よりも20パーセント引き)が平成29年よりスタート・継続しています。

さらに通学費助成を拡大するため、現在市内55高校に対して実態調査を行っており、この結果をもってさらなる予算拡大が実現する事を目論んでおります。

市会へ送り出して頂いてから、継続的に取り組んできたところですが、今後も家計の負担が大きい通学費について、助成を拡大できるように取り組んで参ります。

## ゴルフツーリズムで観光促進・経済活性化を

前進  
しました

2017年から取り組んでおりますゴルフツーリズム、2018年度はキックオフセミナー・兵庫神戸ゴルフツーリズム協会創設が実現、今後ファミトリップや受け入れ態勢づくりを加速させていきます。



2018年10月 三重県で開催された第一回ゴルフツーリズムコンベンションへ出展 海外オペレーターにアピールしました



キックオフセミナーにて提唱者として挨拶



## 障害者の親なきあと対策

前進  
しました

障害者支援センター設置……北区は2019年度に設置予定です。

新年度において、入所通所施設の現状とニーズの乖離につき、しっかりとした調査を行い、実際に必要とされている設備の整備に取り組めます。

## 北神地区の皆様のための行政利便性向上

実現  
します

北神支所を4月1日より区役所へ格上げし、5月からは総合窓口を設置します。

### 北神図書館

北神ビルに図書館北神分館が入っておりますが、エコーリリ南館4Fに図書館として独立します。

蔵書数約10万冊⇒約12万冊 930㎡⇒1,320㎡へ増強

## 空き家対策の強化⇒人口増施策へ

実現  
します

危険な空き家を解体するだけが空き家対策ではなく、解体後に新たな家が建ち、人が住まう事が重要であり、神戸の人口増加につながらなければならないと考えています。

このため、以前より、人口増加につながる古家の解体や中古住宅のリノベーションに補助を出すように要望を重ねてまいりました。新年度予算では危険家屋のみならず、人口増につながるような補助も実現させることが出来ました。

### ・老朽危険家屋撤去(継続)

今まであった制度で、危険家屋の撤去のための解体費助成または行政代執行

### ・一部老朽家屋の解体費補助(新設)

旧耐震制度の下で建築された家屋のうち、一部破損や腐朽があるものについて解体費を補助(補助率50% 上限50万円)

### ・子育て世帯リノベーション(新設)

子育て世帯が中古住宅を購入しリノベーションする場合に費用を補助するもの 市外からの転入についてはさらに厚く補助(補助率50% 上限50万円 市外からの転入は70万円)

※新耐震基準とは、1981年(昭和56年)6月1日以降に建築確認がなされた物件です

## 公園のトイレを美化

前進  
しました

公園のトイレがなんとも汚れていて、「使いたくないからなんとかしてくれ!」という声をお聞きし、2016年3月の特別委員会から要望、当初は建物の耐用年数50年が過ぎないと出来ないという意味不明な回答でしたが、めげずに要望を続けた結果2017年よりトイレチェンジアクション事業として、242百万円予算獲得し、2019新年度予算では320百万円を計上。市内147公園のトイレについて、立替えや洋式化を含むリフォーム、3K脱却のために美化が始まっています。

六甲唐櫃台公園などは立替え済。また、ひよどり台公園などリフォーム済みです。新年度は、鈴蘭公園 田園スポーツ公園多目的広場横トイレを立替え予定

鹿の子台 掖谷(ねぶたに)公園トイレはリフォーム予定です。

その他、道路関連の予算は外面の「北区の道路はこう変わる」コーナーをご覧ください

# 北区の道路はこう変わる

## 有野台 五社北交差点 2019新年度予算186百万円

有野台から神戸三田線へ出るときに通る五社北交差点は、かかる**有野大橋**が狭く右折レーンがないため、右折車が2~3台連続すると全ての車が進めなくなる事などから、酷い渋滞が発生する交差点です。皆様から交差点改良を早期に行うように要望頂いておりましたが、この度周辺の皆様の理解があり、具体的に工事が進むことになりました。

有野大橋の拡幅、歩道拡幅、西向き右折レーン新設などの工事であり、2019年度中に工事が開始され、2020年度末までに完成する予定です。

## 唐櫃IC~有馬口トンネル 総工費300百万円

拡幅工事が進む神戸三田線、有馬口交差点付近の拡幅工事が終了し、昨年からトンネル工事が開始されています。トンネル自体の工期は2020年度という事ですが、接続工事等のために開通するのは2022年3月という予定となっております。

その区間の次は狭小有馬口~五社IC間の改善です。

## 神戸三田線 皆森~谷上2車線化 2019新年度予算16百万円

もともと箕谷インターチェンジ付近の信号のタイミングだけでも何とかならないだろうか? という要望を建設局にしていたところから、平成28年度予算検討時に皆森から北勝までの区間を2車線化して渋滞解消をしようという規模の話になり、2018年度調査にて谷上交差点までを2車線化する話になりました。

スピードアップの要望をして参りましたところ、2018年度は概略設計が行われ、2019新年度は詳細設計および土地買収などを行い、2020年度工事着手、2021年度までに完工するという予定になっております。

## 有馬街道 青葉台口~大滝口 2019新年度予算60百万円

降雨量が一定以上を超えると通行止めにならない道路で大雨のために**毎度通行止め**になります。また、元々国道であるのに道路幅が極端に狭く、大型バスなどが通行するときには対向車が止まって待たねばならない箇所もあります。

2017年10月の台風21号の折にも約48時間通行止めになり、根本的な解決をしてくれるよう強く要望、2018年度には概要調査が実現。2019新年度予算では、青葉台口の東から大滝口まで抜けるトンネル案または拡幅案も含め地形地質調査および予備設計を行い、2020年度以降に詳細設計・用地買収および工事の開始が行われる予定です。

**番外編 ハーバーハイウェイETC導入へ** 多くの皆さんから要望頂いたハーバーハイウェイでのETC導入検討予算がつきました。

**通行料金については** 10月消費増税時には、200円区間が210円に変更される事以外に値上げはありません。

多くの道路事業が走り出しています、皆様の要望をあきらめずに発言し続けた結果が実ってきたものであり、私自身も道路利用者として非常に楽しみに思っております。災害に強く、渋滞にくい道路網の整備のため、引き続き取

## 生田川右岸線拡幅~渋滞対策強化 128百万円

山麓バイパス上り線は三宮方面と生田川方面の2方面へ出口がありますが、生田川方面出口は慢性的な渋滞が発生、以前より渋滞解消のため山麓バイパストンネルとポートアイランドへ抜ける港島トンネルの直通も含めた対策を要望していますが、この度車線増のための詳細設計予算が決定しました。各所で2車線⇒3車線へ拡幅検討中、阪神高速西神部完成にあわせて、将来は港島トンネル直通に取り組みます。



なお、神戸港競争力強化のための港湾物流事業者のみなさまへの使用料減免措置については実質的に継続できるようにシステム整備をするように要望しております。

り組んで参ります。出来ない事も、スピードが遅くなってしまう事もありますが、皆様にはできるだけ多くの要望をお寄せいただけますよう、お願いいたします。

# 西鈴蘭台駅前再開発について

**五島** 一昨年くらいから、駅前の自転車置き場について、2階部分が使用されていない事などからどうにか手を入れたいとの要望があり、議論がなされてきた。私からは、民間資本を活用し、自転車置き場を民間が整備するような形で再開発を行うか、または、中途半端な修繕はやめて、神戸電鉄さんが次に手を入れるべき駅として西鈴蘭台駅を考えているのだから、駅そのものを再開発してはどうか? と提案をさせて頂いていたところである。

実際に、この度、駅そのものの再開発にかじ取りがされようとしているが、ここでやって欲しい事がいくつかある。

- 神戸電鉄と神戸市のみでの開発ではなく、民間資本を呼び込んだものにする事
- 大規模なパークアンドライド機能を持つ、駅を中心とした活性化を可能なものとする事
- 再開発ビルだけでなく、周辺についても用途地域などの緩和を行い、街全体に投資の機運を高める事 などである。

**林計画部長** 神戸電鉄との役割分担や事業個所についてはまだ決まっていないが、民間活力の導入の可能性も含めて、引き続き神戸電鉄と検討していきたい。

用途地域については、拠点駅を中心にポテンシャルを生かすという取り組みは進んでいくので、引き続き、土地利用誘導施策について検討していきたい。パークアンドライドは、公共交通への転換という事では、意味のある施策なので検討していきたい。

**赤:駅再開発エリアとして考えられる範囲**  
**緑:用途地域の見直しなどを考えるべき範囲(例)** 青:神戸市の資産  
まだまだ未定な事項が多いこの段階から、しっかりと議論・要望を行う事が重要です。

